

Nitto

Innovation for Customers

第159期 第2四半期のご報告

2023年4月1日～2023年9月30日





代表取締役 取締役社長
CEO COO

高崎 秀雄

トップメッセージの太文字部分をクリックまたはタップいただくと、詳細ページをご覧ください。

2023年度上半期を終えて

2023年度上半期における経済環境は、欧米諸国でインフレ率が高水準で推移し、金融引締め政策が一段と進みました。米国では、良好な雇用情勢を背景に個人消費が底堅く推移しており、連邦準備制度理事会（FRB）はインフレ抑制に向けて、引き続き高い政策金利を維持しています。一方、中国では、不動産市況の低迷などにより、個人消費を中心とする内需回復のペースが想定を下回りました。また、米中貿易摩擦の影響から貿易収支の伸びが鈍化するなど、経済の先行きの不透明感が高まりました。日本では、自動車を中心とした輸出やインバウンド需要の増加により景気は緩やかに回復しました。なお、為替相場は日米金利差拡大を受けて円安が一段と進みました。

このような中、当社グループの主要な市場においては、バーチャリアリティ（VR）向け光学フィルムや自動車材料の需要が増加しました。一方、データセンター向け製品及びハイエンドノートパソコン、タブレット端末用光学フィルムは市況の悪化により需要が減少しました。半導体や電子機器の生産に使用される製品は、在庫調整が一巡しましたが需要は低調に推移しました。また、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）ワクチン向け核酸アジュバント（核酸免疫補強剤）は前第2四半期連結会計期間より新規受注が停止しております。

以上の結果、2023年度上半期の業績は、前年同期比で売上収益7.3%減の4,493億円、営業利益30.1%減の645億円となりました。なお、通期業績は、売上収益9,200億円、営業利益1,400億円を見込んでおります。

中期経営計画「Nitto for Everyone 2025」

Nittoグループは、変化するマーケットを探索していくことで、多くのニッチトップ製品を創出してきました。そして、2030年ありたい姿「ニッチトップクリエーター」として驚きと感動を与え続ける『なくてはなら

ないESGトップ企業』を描き、それを実現するための最初の3年間（2023年度～2025年度）を実行期間とする、中期経営計画「Nitto for Everyone 2025」を策定しました。世の中で「あったらいいな」の存在にとどまらず、Nittoらしさを追求して、お客様及び社会、さらには地球にとって「なくてはならない製品、サービス」を、これまで以上に数多く創出していきます。

Nittoグループでは、ESG経営を推進するため、専門組織を立ち上げ、TCFDへの賛同表明をはじめ、2050年カーボンニュートラルの実現、PlanetFlags™/HumanFlags™（環境・人類貢献製品）をニッチトップ製品に育てること、サステナビリティ基本方針の策定、女性従業員の活躍推進に向けた施策を実行しています。また、Nitto流ESG経営においては、ESGへの投資は未来に向けて財務価値に転ずるという考え方のもと、財務以外の情報を「非財務」ではなく、あえて「未財務」と呼び、未財務目標を人財・チームの活性に関する「人財系」、「PlanetFlags™/HumanFlags™」やニッチトップ関連の「製品系」、脱炭素や資源循環といった「環境系」に分けて設定しました。詳細については、このあとのページでご説明します。

利益還元について

Nittoグループは、株主の皆様に対して安定的に利益の還元を行うことを基本にしています。一方、急速な技術革新への対応と顧客ニーズにタイムリーに応えるために、内部留保を使って研究・開発および生産に関わる積極的な先行投資を行っていくことも必要不可欠です。株主の皆様に対する配当金につきましては、将来の投資機会、財務状況、資本効率、利益水準、および配当性向等を総合的に勘案して実施することとしています。また、内部留保についても定期的に水準を確認し、総合的に勘案して用途を定めていきます。2023年度の年間配当金は、1株につき年間260円を予定しております。なお、中間配当金は130円とさせていただきます。

中期経営計画「Nitto for Everyone 2025」

Nittoグループは、新たな中期経営計画を策定するにあたり、その道しるべとなる「2030年ありたい姿」を設定しました。そして、そのありたい姿を実現するための、3年間の実行計画として中期経営計画を位置づけています。

2030年
ありたい姿

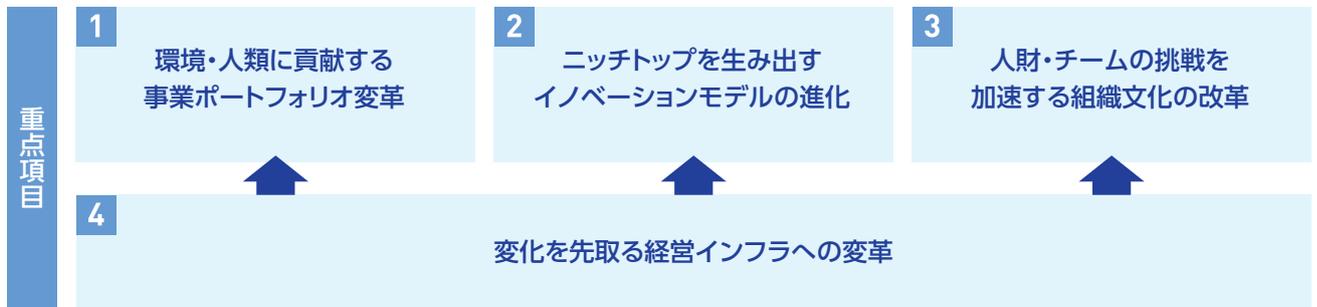
2030年ありたい姿を「ニッチトップクリエイターとして驚きと感動を与え続ける『なくてはならないESGトップ企業』」と設定しました。ESGを経営の中心におき、「あったらいいな」にとどまらず、Nittoらしさを追求して「なくてはならない」存在を目指していく意志を込めています。



Nitto
for Everyone
2025
コンセプト

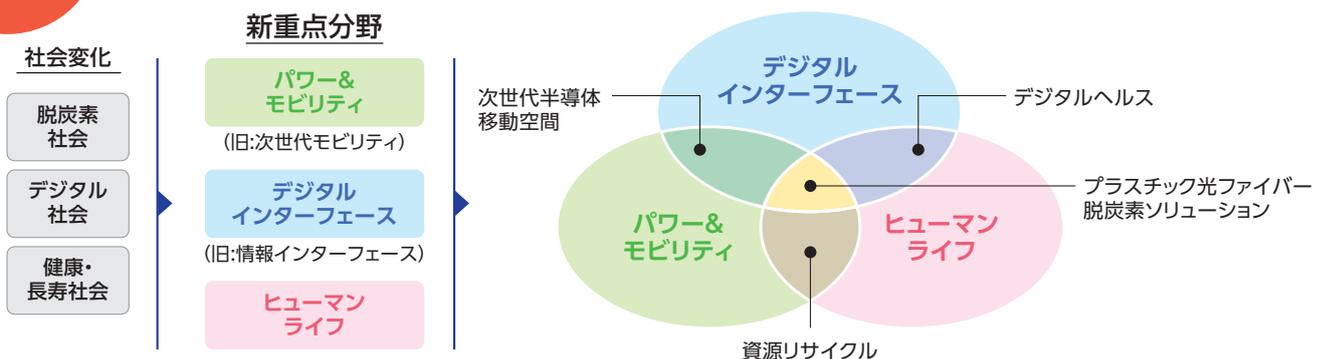
「Nitto for Everyone 2025」では、ニッチトップ戦略とNitto流ESG戦略を掛け合わせて実践していくことを柱としています。

2030年ありたい姿“なくてはならないESGトップ企業”を実現するために「ニッチトップ戦略 × Nitto流ESG戦略」の実践



重点分野

Nittoグループは、脱炭素、デジタル化、健康・長寿などの社会変化に対応するため重点分野の見直しを行い、新たに「パワー&モビリティ」「デジタルインターフェース」「ヒューマンライフ」を重点分野として位置づけました。さらに、これらの交わる領域でNittoグループの技術の強みを活かし、「なくてはならない」存在を目指します。



Nitto流 ESG経営とは

NittoグループのESG経営とは、PlanetFlags™/HumanFlags™の開発と提供によって社会課題を解決し、ニッチトップソリューションに発展させることで経済価値を創造することです。これは、果敢にチャレンジするNitto Personの活躍と環境に配慮したモノづくり、それらを支える強固で健全な経営基盤によって成し遂げられます。Nittoらしいアプローチでお客様に驚きと感動を提供し「なくてはならない」存在を目指します。また、ESG活動はコストではなく事業（投資）であるという考えのもと、「未財務」活動を「財務」に、さらに企業価値へと転換することを目指して推進しています。

未財務を財務に、企業価値に転換する強いこだわり

地球環境・人類社会になくてはならない

お客様・産業になくてはならない



Flagsの可能性のある開発テーマに集中

パワー&モビリティ

デジタルインターフェース

ヒューマンライフ

ニッチトップ

強固で健全な経営基盤

コストではなく事業（投資）としてESGを推進

経営目標

2030年ありたい姿を実現するため2030年の目標値を設定し、そこからバックキャストして中期経営計画の2025年の目標を掲げました。財務目標は収益性を重視する考えのもと、2025年度までに営業利益1,700億円、営業利益率17%、ROE15%を目指します。また、未財務目標は2030年ありたい姿を目指す数値として、新たに6項目を設けました。これらはESG経営を加速するための重要な指標であり、目標を達成することで「なくてはならないESGトップ企業」を実現します。

財務目標			
	2022年 (実績)	2025年	2030年
営業利益	1,472億円	1,700 億円	2,400 億円
営業利益率	15.8%	17%	—
ROE	12.7%	15%	20%
未財務目標（継続）			
新製品比率	41%	35% 以上	35% 以上
CO ₂ 排出量	571kton [*] /年	550 kton/年	470 kton/年
女性リーダー比率	19%	24%	30%

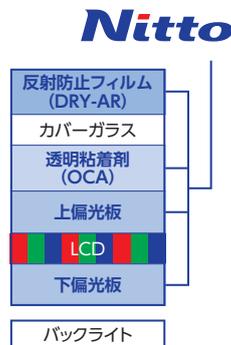
*kton:キロン(千トン)

未財務目標（新規）				
	2022年(実績)	2025年	2030年	
製品系	ニッチトップ売上収益比率 Nittoグループの収益を牽引する製品の比率	47%	50%	50% 以上
	PlanetFlags™/HumanFlags™ カテゴリ売上収益比率 地球環境・人類社会への事業貢献度	17% (Flags認定品)	40%	50% 以上
環境系	廃プラスチックリサイクル率 資源循環の取組み強化を評価する指標	46%	50%	60%
	サステナブル材料使用率 環境配慮した材料の調達割合	17% (国内グループ)	20%	30%
人財系	エンゲージメントスコア 従業員の働き甲斐を評価する指標	74 (21年度)	78	85
	チャレンジ比率 価値創造にチャレンジする人財の比率	42%	70%	85%



TOPICS 1 車載向け光学フィルム

ディスプレイ分野において、車載用途での高い成長が期待されています。車載向け光学フィルム(偏光板)は、これまで主にカーナビでの使用に限られたサイズと枚数に留まっていたましたが、近年は、EV車のコックピットでみられるようなディスプレイの異形・湾曲・大型化が進んでいます。これらの進化に伴い視認性、耐久性、安全性への要求が高まっており、Nittoグループは、長年培ってきた技術でトップシェアを獲得しています。また、光学フィルム(偏光板)以外に、透明粘着剤(OCA)や反射防止フィルム(DRY-AR)など様々な製品をトータルで提供することでさらなる売上の拡大を目指します。

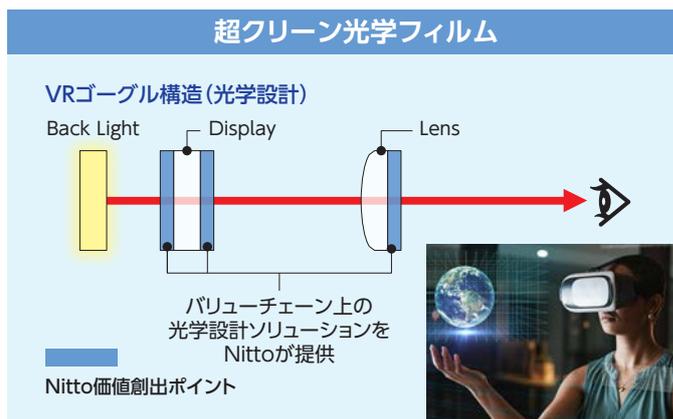


TOPICS 2 VR向け超クリーン光学フィルム

Nittoグループは、メタバース市場においても製品を供給しています。ハイエンドのVRゴーグルには、Nitto独自の光学設計による高精度/超クリーンな光学フィルムが採用され、“没入感”の向上に貢献しています。今後、教育・医療など幅広い分野で社会的な活用が期待されています。



- 高精度/超クリーン技術
- 光学フィルムの機能最適化
(位相差値、透過率、偏光度の最適設計)
- 薄型化によるデバイスの薄型・軽量化
- 今後の需要拡大に備えて新設備を導入済み



TOPICS 3 DE&Iの取組み

Nittoグループは、世界で躍進し、成長し続けるためのドライバーであるDE&I※1を重要視しています。2030年経営目標「女性リーダー比率30%」の実現に向けて、2022年4月より国内の女性リーダー育成のための「FLOWERプログラム※2」を開始しました。幹部による講演会や女性ネットワークミーティング、マネジメント能力育成研修などのプログラムを実施し、マインドセットと

ビジネススキルの両面から女性リーダー育成を推進しています。プログラム参加者の8割がリーダーに対して前向きな気持ちを持つことができ、2023年7月からは2期生が研修に励んでいます。

今後とも2030年ありたい姿『なくてはならないESGトップ企業』実現に向けて、DE&I推進活動を継続強化し、多様な人材が生き生きと働く魅力ある環境づくりに取り組んでまいります。



**Diversity,
Equity &
Inclusion**

DE&I推進ロゴ



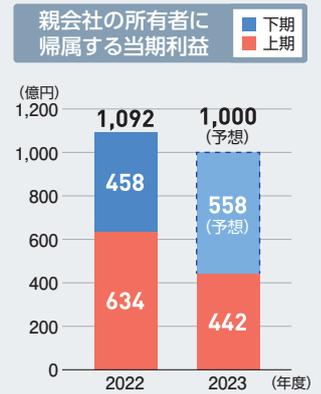
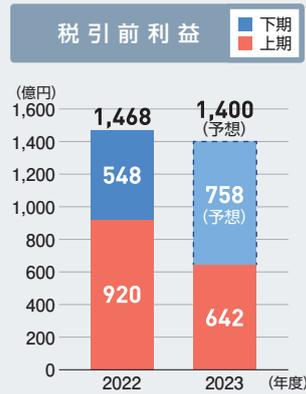
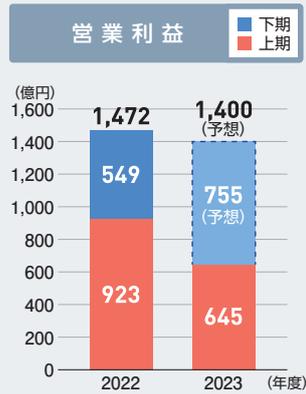
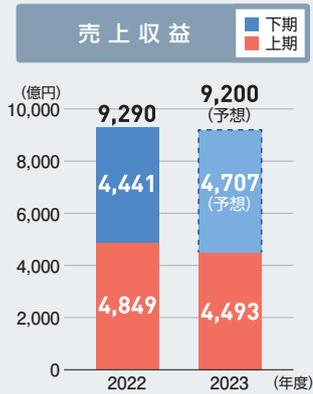
「FLOWERプログラム」2期生

※1 ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン

※2 Female Leaders Ownership Empowerment
性別に関係なく、大輪の花を咲かせる意味を込めています。

業績ハイライト

※2014年度より国際会計基準 IFRSを適用しています。
※数値は、表示単位未満を四捨五入して表示しています。



海外売上収益比率 ※1

83.8%

海外売上収益 **3,766**億円
国内売上収益 **727**億円

※1 2023年度上半期連結売上収益に
占める海外での売上収益の割合

自己資本比率 ※2

78.3%

自己資本 **9,436**億円
総資産 **12,053**億円

※2 2023年度上半期(9月末時点)の
総資産に占める自己資本の割合

1株あたり配当金



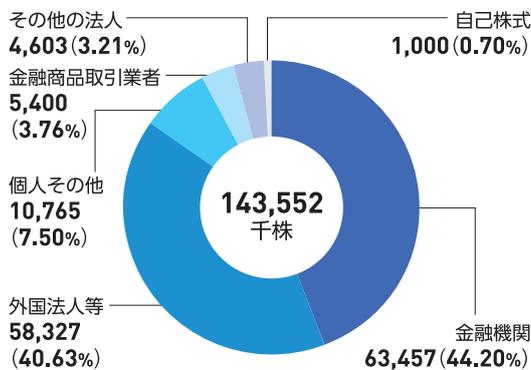
- ポイント**
- 1 成長が期待されるメタバース市場に対する取り組みとしてVR向け光学フィルムの量産を開始
 - 2 成熟化が進むスマートフォン向けには、光学フィルムに加えて、透明粘着シートや工程保護フィルムをあわせたトータルソリューションに対応
 - 3 データセンター向けCIS及びハイエンドノートパソコン、タブレット端末用光学フィルムは、市況の悪化により需要が減少
 - 4 COVID-19の収束に伴い、ワクチン向け核酸アジュバント(核酸免疫補強剤)の需要が減少

■ 株式の状況 (2023年9月30日現在)

発行済株式の総数 143,552千株
株主数 25,172名

所有者別分布状況

(単位：千株)



■ 表紙写真：尾道事業所

■ 株主メモ

証券コード 6988(業種:化学)
事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当受領株主確定日 3月31日(期末配当)、9月30日(中間配当)
定時株主総会 6月
単元株式数 100株
上場金融商品取引所 東京証券取引所
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話:0120-094-777(通話料無料)

※株式に関するお手続きについては、当社ホームページをご覧ください。
<https://www.nitto.com/jp/ja/ir/stock/procedure/>

Nitto公式SNSでも情報を発信しております。



上記のURLや二次元コードをクリックまたはタップいただくと、詳細ページをご覧いただけます。